

学びをひろげる (第14回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

まる (わたしと○人の会)

日時 2016年1月23(土) (午後2時~6時)
場所 吉岡数子さんの主宰する
教科書総合研究所 (元 教科書資料館)
参加費 500円 (学生は無料)

一人で拡がらない学びを○人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。



前回 第13回の内容

吉岡数子さんの実践「隠れ総合」に学び、現行教育を問う!! ひとりの教師の83年間の個人史をひもときながら語られました。その背景に日本という国の歴史や、重なるように中国、朝鮮など東アジアの国々の歴史が幾重にもつながって来てきました。吉岡さんが教師になろうと決意するときも、算数の授業をしているときも、教室から飛び出す子どもと語り合う時も、総合学習に取り組むときも…、いつも実践の一つ一つに、いわば歴史の必然性が宿っているかのように思えました(極めて簡略なプロフィール) 1932年朝鮮に生まれ、1937年、傀儡「満州国」へ移住。1944年、日本へ帰国。敗戦で教科書の墨塗りを体験。1955年、京都学芸大学を卒業。大阪・堺市で小学校教員として勤務するかたわら平和・人権学習の教材化・パネル化に取り組む。1991年に退職して、堺市立「平和と人権資料館」に嘱託勤務。1997年、私設「平和人権子どもセンター」を設立、その後「教科書総合研究所」を開設、現在に至る。

お話は、大きく四つの時期に渡ります。①朝鮮・満州での幼少時の体験 ②敗戦という時代の変り目 ③大阪での教師時代 ④退職後の私設「平和人権子どもセンター・教科書資料館」の活動。この「1期」だけでも、聞きたいことが山



ほど出てきます。教師時代の実践の数々にも興味が尽きません。時間割表なし・チャイムなし・教科書なしの学校ぐるみの総合学習や、一つの单元だけで国・算・社・理・体・音・図・道徳・学級会のすべての教科を学習する実践も取り組まれています。参加者の全員がお話にくぎ付けになり、もっと学びたいという思いに駆られました。そこで、次回は「平和人権子どもセンター・教科書資料館」への研修ツアーに取り組むことになりました。

今回 第14回は



吉岡数子さんがつくられ運営されている、私設「平和人権子どもセンター・教科書総合研究所」を見学して交流
・吉岡さんに案内していただき、教科書総合研究所見学(1h)
・吉岡さんを囲んで交流(3h)
「教師論」をテーマに、吉岡さんの話を受けて、3つの柱を立てて話し合います。

①なぜ教師になったのか ②どんな実践をしてきたのか ③若い人たち・これからの教師に臨むこと
※研究会終了後、「新年会」を開きます。時間の許す方は、ぜひ参加してください。学生さんの参加費は1000円です。

「学びをひろげる」スタッフ 堀 智晴、松森 俊尚、山本 卓雄

連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ☎gakimon57tm@ezweb.ne.jp ☎matumori@crux.ocn.ne.jp)
山本 (☎yamamoto2.cham-miku@nifty.com) 堀 (☎hori720@hotmail.com)

★次回第15回研究会は、2016年3月12日(土)午後1時45分~5時 クレオ大阪東 で行います★